



2018年4月
開講！

医療福祉学研究科 修士課程 保健医療学専攻

災害医療分野

国際医療福祉大学大学院では、2018年4月、防災・減災を推進していくための人材の養成を目的として、日本初の「災害医療分野」を開設します。

この分野は2年間の修士課程であり、2年間で来るべき災害に対応し、自分の所属する組織の業務を継続するための基本的な技術や知識とともに、災害発生時等において危機管理対応を的確に行い、業務を継続していくために必要な能力等を備えた人材を育成していきます（裏面参照）。

また、当該分野では、土・日中心のカリキュラムやICTを活用した授業システムを積極的に導入しており、働きながら学べるように配慮しています。

担当教員紹介



石井 美恵子 教授

(2018年4月着任予定)

現東京医療保健大学大学院看護学研究科准教授。北里大学大学院看護学研究科修士課程修了。富山大学医学薬学教育部博士課程（危機管理医学専攻）修了見込み。

北里大学病院救急救命センター等の勤務を経て災害医療支援や災害教育に従事。現在、JICA国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会アドバイザー、日本集団災害医学会理事、内閣府男女共同参画有識者議員、外務省女性参画推進室女性・平和・安全保障に関する行動計画評価委員、東京都女性の視点からみる防災人材の育成検討会議委員を務める。

【主な支援活動】

東日本大震災では災害支援ナース現地コーディネーターとして活動。16年熊本地震では益城町テント村支援、益城町保健福祉担当者支援。



東京赤坂キャンパス

※2018年4月より移転予定

東京メトロ銀座線・丸ノ内線
赤坂見附駅から徒歩3分の好立地

災害医療分野の教育内容等に関するご相談は以下までお願いいたします。

国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス

「災害医療分野」開設担当：望月 聡一郎 教授

TEL:03-6406-8621 (代) Eメール：mos@iuhw.ac.jp

その他のお問い合わせは大学院事務局 daigakuin@iuhw.ac.jp までお願いいたします。



分野の概要

【修業年限】

2年（修士：災害医療学）

【募集人員】

10名程度

【出願資格】

一般入試の出願資格のいずれかの要件を満たす者で、災害時に危機管理、地域保健、地域防災の業務を推進している者（将来、当該業務に就くことを希望する者を含む）。

* 詳細は募集要項にてご確認ください。

【修了要件】

30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

【カリキュラム】

科目

科目の概要・目的

環境防災論・環境防災演習

災害発生の機序を学び、都市災害の特性と人間・社会システムの強化による減災の重要性を学ぶ。

災
害
医
療
分
野
必
修
科
目

災害医療概論

災害医療についてのトピックス（感染制御、薬剤管理、介護予防・リハビリテーション、心のケア、放射線事故等）をオムニバスで学ぶ。

災害医療特論

災害時の医療について必要な医学的基礎素養、大規模災害の類型、災害時派遣医療の供給体制、災害時のサーベイランスシステムについて学ぶ

災害危機管理・災害危機管理演習

災害発生時の危機管理の意義を理解し、平時の備え、組織マネジメント、コンサルテーション技法、教育手法等を学ぶ。さらに臨機応変に支援者や自分の所属する組織を再編・組織化するためのリーダーシップを学ぶ。

災害危機対応と倫理・法制度

災害や紛争などの被災者（災害弱者を含む）に対する支援活動を行う機関や個人が、現場で守るべき基準を理解するために必要な知識を習得するとともに、災害関連の法制度を理解する。

危機対応倫理演習

研究過程・研究方法

課題研究に必要な、事例研究のアプローチ方法をベースに、臨床現場や地域社会の課題の抽出から改善策の策定、効果測定・評価までの方法論を学ぶ。

課題研究指導

自分の選んだテーマについて、研究計画の作成から、情報収集、情報分析、調査、報告書の作成までを指導する。

※選択科目については、修士課程共通科目および修士課程各分野の専門科目（履修制限のないもの）から5単位以上修得する。ただし、「修士課程のための研究法入門」及び「統計学入門」は選択必修科目とする。